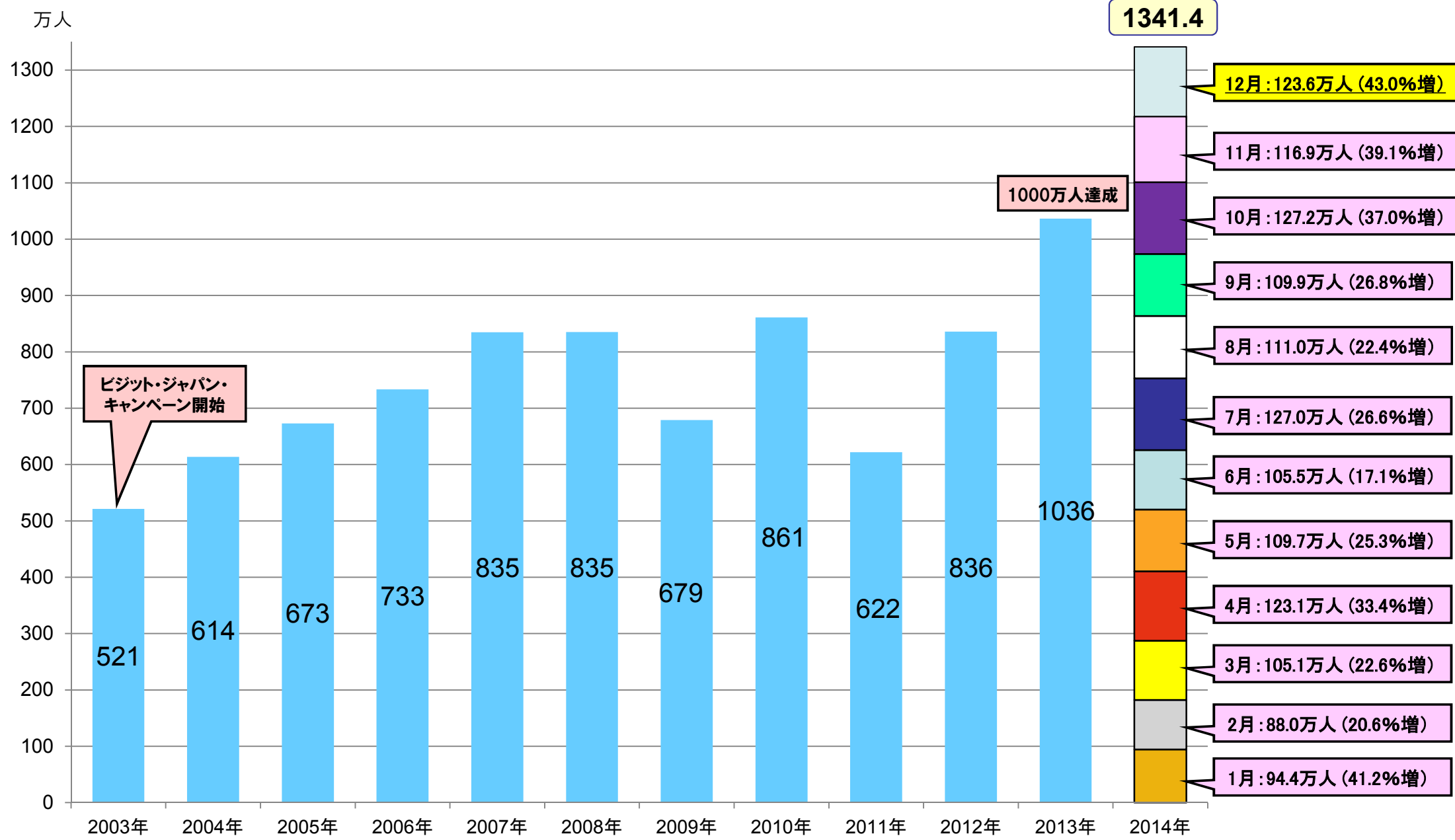


# 訪日外国人旅行者数2000万人 に向けた取り組みについて

---

平成27年1月  
観光庁

# 訪日外国人旅行者数の推移

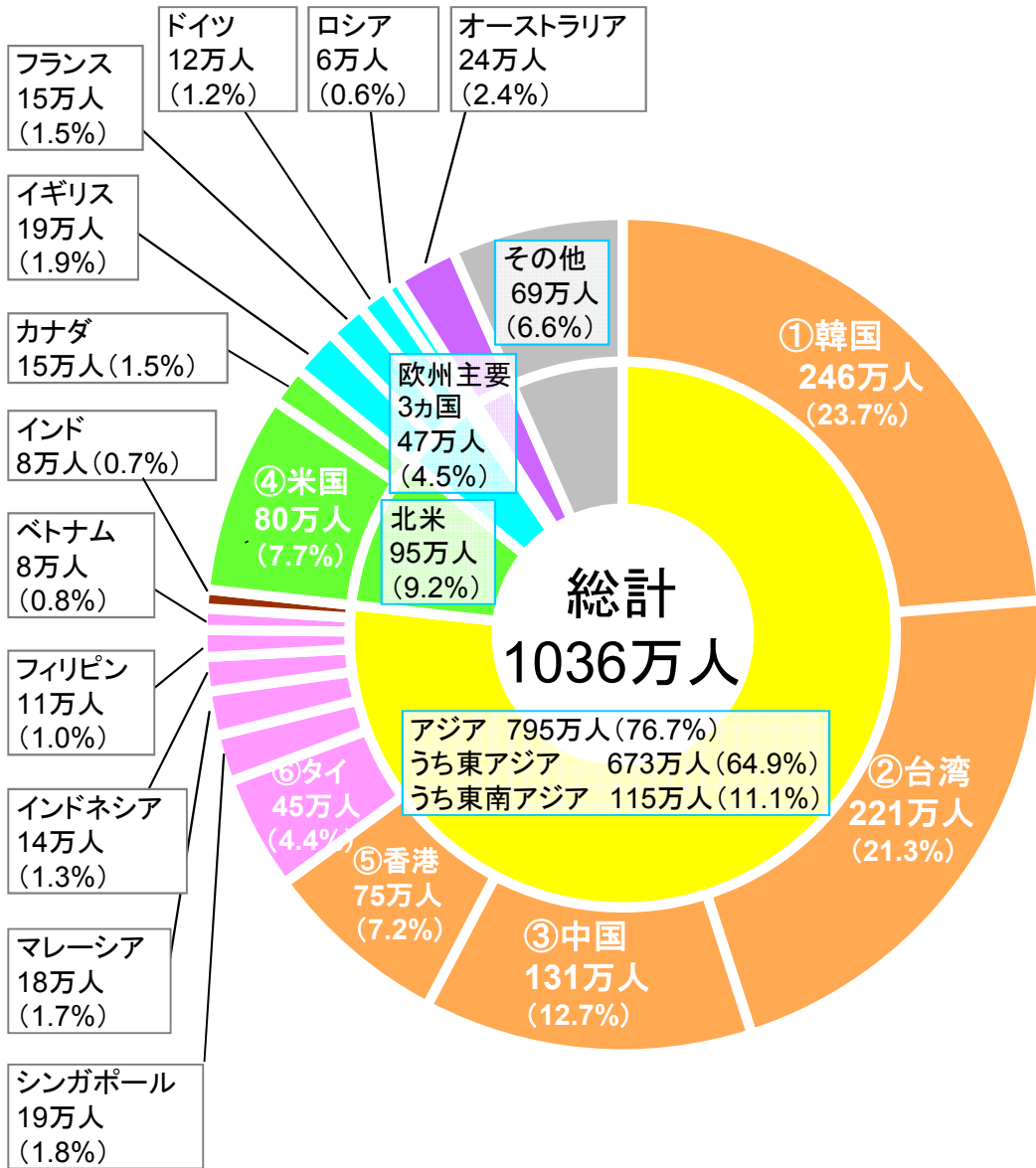


【お問い合わせ先】  
 観光庁日本ブランド発信・外客誘致担当参事官付 今井、辺見  
 (代表) 03-5253-8111(内線27502, 27503) (直通) 03-5253-8922

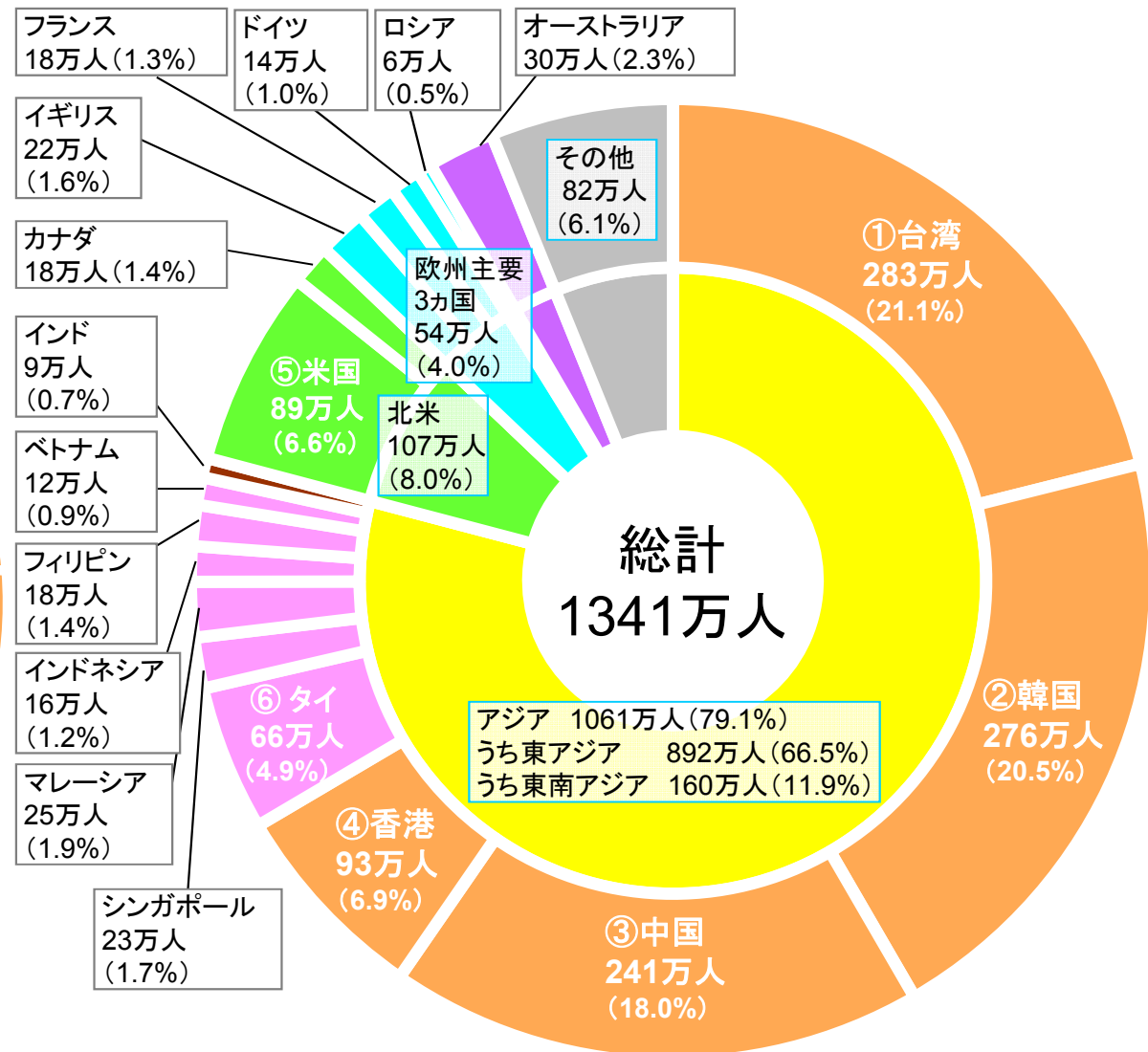
注) 2013年以前の値は確定値、2014年1~10月の値は暫定値、2014年11~12月の値は推計値、%は対前年(2013年)同月比  
 出典: 日本政府観光局(JNTO)

# 訪日外国人旅行者数及び割合(国・地域別)

## 【2013年(確定値)】



## 【2014年(推計値)】

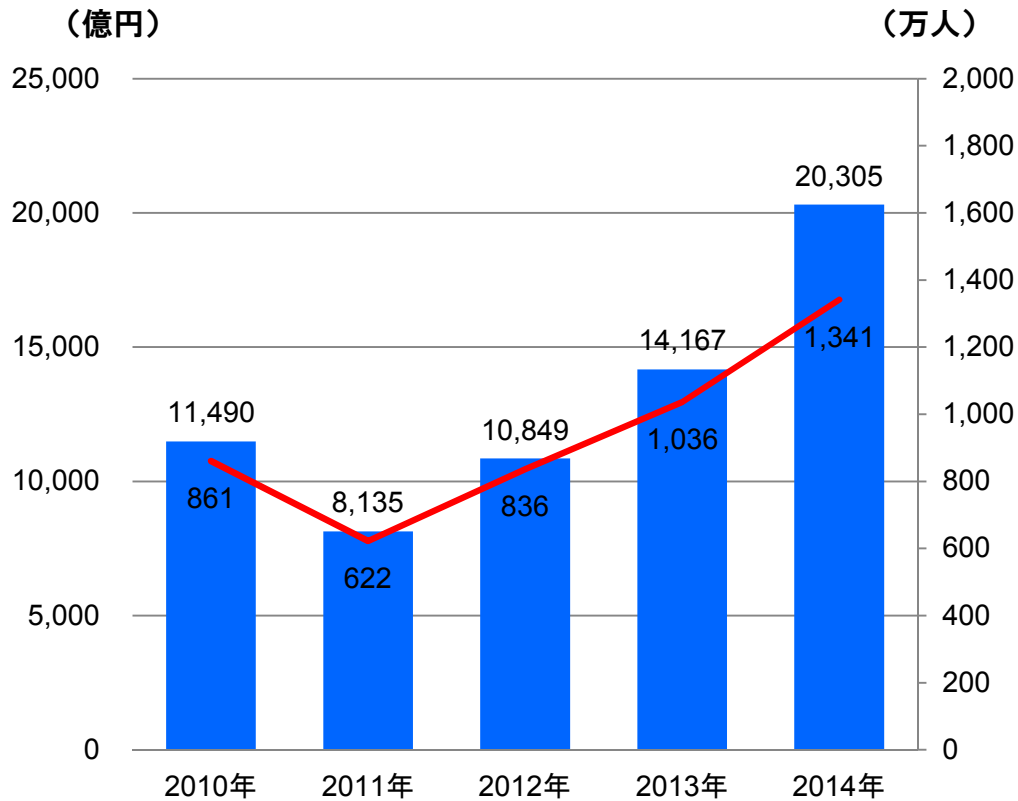


※ ( )内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア  
 ※ その他には、アジア、欧州等各地域の国であっても記載のない国・地域が含まれる。  
 ※ 数値は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。  
 ※ 日本政府観光局(JNTO)資料より観光庁作成

# 2014年の訪日外国人旅行消費額について

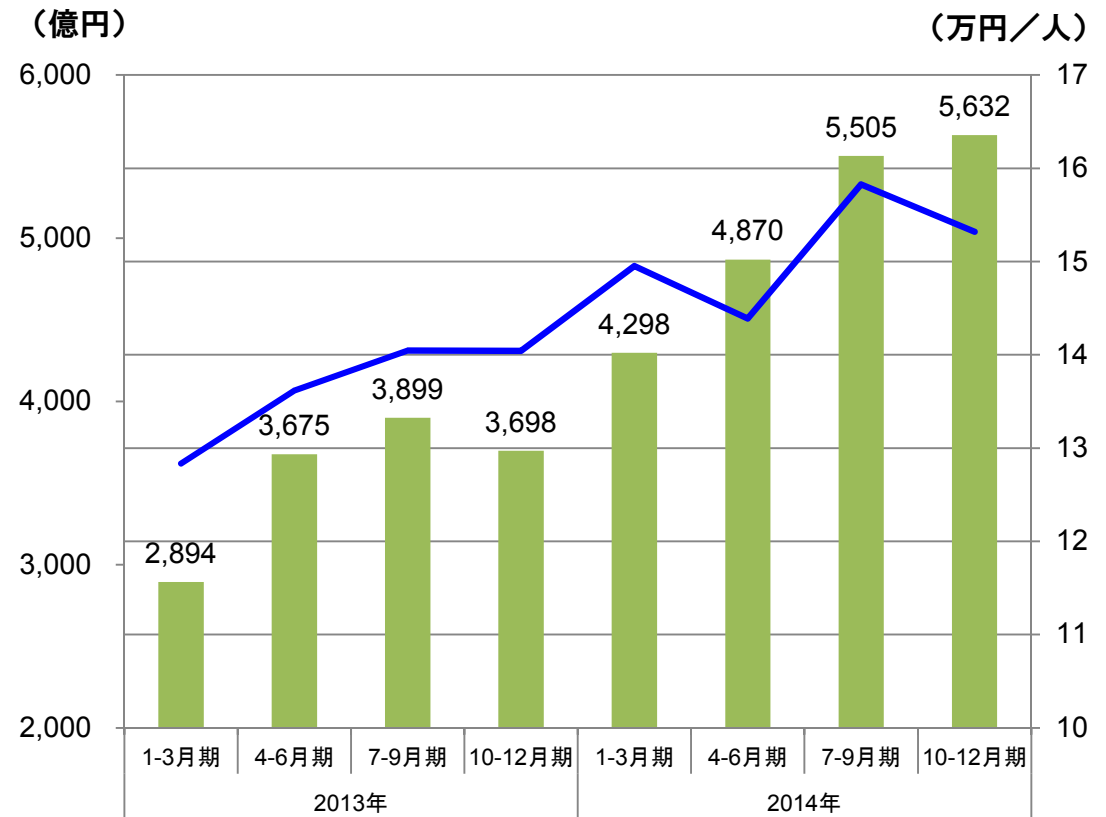
- 2014年の訪日外国人の旅行消費額は、前年比43.3%増の2兆305億円。
- 2014年第4四半期の訪日外国人の旅行消費額は、前年同期比52.3%増の5,632億円となり、2四半期連続で5,000億円を超えるとともに、過去最高値となっている。

### 旅行消費額と訪日外国人旅行者数の推移



■ 旅行消費額(億円)・左目盛 ■ 訪日外国人旅行者数(万人)・右目盛

### 四半期毎の旅行消費額と一人当たり旅行支出の推移



■ 旅行消費額(億円)・左目盛 ■ 1人当たり旅行支出(万円/人)・右目盛

※2013年の1人当たり旅行支出:13万6,693円

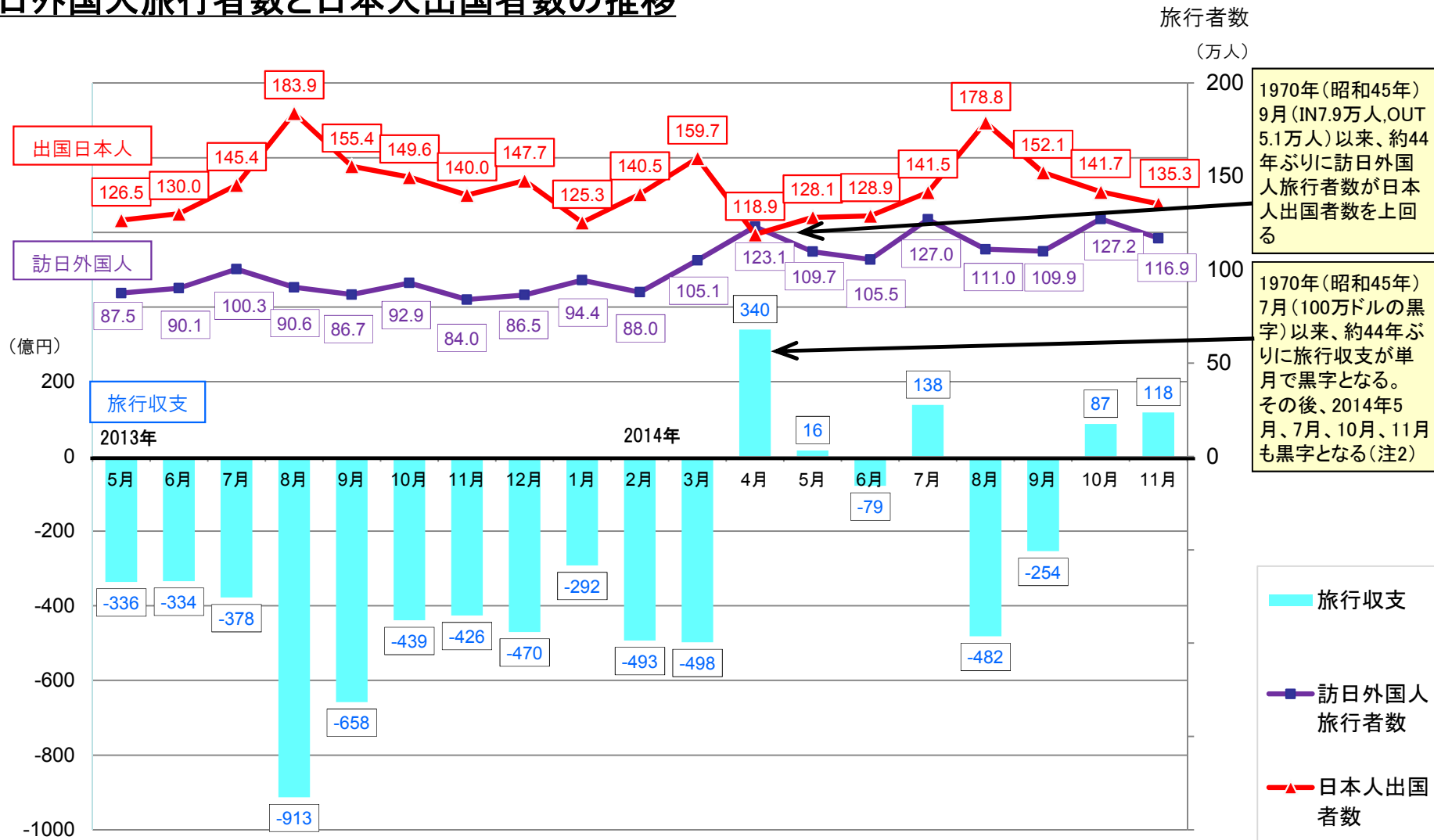
※2014年の1人当たり旅行支出:15万1,374円

# 国際旅行収支の改善について

○ビジット・ジャパン事業を2003年に開始して以来、国際旅行収支は改善。  
 2014年4月には、単月ではあるが約44年ぶりに黒字。同年5月、7月、10月、11月にも単月で黒字。

## ◆旅行収支、訪日外国人旅行者数と日本人出国者数の推移

| 年     | 旅行収支(億円) |
|-------|----------|
| 1996年 | ▲ 35,880 |
| 1997年 | ▲ 34,651 |
| 1998年 | ▲ 32,739 |
| 1999年 | ▲ 33,287 |
| 2000年 | ▲ 30,730 |
| 2001年 | ▲ 28,168 |
| 2002年 | ▲ 28,879 |
| 2003年 | ▲ 23,190 |
| 2004年 | ▲ 29,189 |
| 2005年 | ▲ 27,659 |
| 2006年 | ▲ 21,409 |
| 2007年 | ▲ 20,199 |
| 2008年 | ▲ 17,631 |
| 2009年 | ▲ 13,886 |
| 2010年 | ▲ 12,875 |
| 2011年 | ▲ 12,963 |
| 2012年 | ▲ 10,617 |
| 2013年 | ▲ 6,545  |



出典: 旅行収支…財務省国際収支統計、 訪日外国人旅行者数…日本政府観光局(JNTO)訪日外客数、日本人出国者数…法務省出入国管理統計

注1) 旅行収支における2014年10月～11月の値は速報値、2014年1月～9月の値は第2次速報値、2013年以前の値は確報値

注2) 10月8日の発表時に、本年4月速報値177億円黒字→340億円黒字に、5月速報値46億円赤字→16億円黒字に修正

# 訪日外国人2000万人の受入に向けた地方ブロック別連絡会

- 昨年の訪日外国人旅行者数は、**過去最高の約1,341万人**（対前年比**29.4%増**）となり、順調に増加。
- 一方、かつてないペースで訪日外国人旅行者数が伸びていく中、**訪日外国人2000万人を万全に受け入れる体制を充実させることが必要。**



各ブロックの地方運輸局、地方整備局、地方航空局や都道府県、関係事業者等を構成員とする「**訪日外国人2000万人の受入に向けた地方ブロック別連絡会**」(仮称)を設置・開催し、地方運輸局・地方整備局が中心となって、訪日外国人を受け入れる上での**現状と課題をしっかりと把握し、必要な手立てを迅速に講じる。**

## 訪日外国人2000万人の受入に向けた地方ブロック別連絡会（仮称）

### 構成員例

地方運輸局、地方整備局、地方航空局、都道府県・政令市、  
関係事業者・団体（交通、旅行、宿泊等）、日本観光振興協会（各支部） 等

### 課題例

- ・ 空港・港のC I Q体制の整備
  - ・ 観光バス駐車スペースの確保
  - ・ 観光案内所、道の駅、みなとオアシス等の観光案内機能の向上
  - ・ 空港容量、貸切バス、宿泊施設等の供給の確保
  - ・ 観光地や都市部におけるバリアフリー化
- 等

### 当面のスケジュール

2月～  
地方ブロック別連絡会の立ち上げ



現状把握・課題の整理



6月  
対応策の  
中間とりまとめ



年内  
進捗状況の確認、  
とりまとめ